

# 令和8年度事業計画



# I 第5期指定管理期間(令和8~10年度)における財団の運営方針

## ■ 財団の「理念」と「ミッション」

### ● 「理念」

- ・私たちは、その想像力と創造性を活用し、芸術文化の価値を高めます。
- ・私たちは、芸術文化の力で、地域に生きる人々の心を豊かにし、幸福な社会の実現に貢献します。

### ● 4つの「ミッション」

#### ◎ 「創造に挑む」

- ・芸術文化の価値を追求します。
- ・多様な価値観や美意識、表現の自由に基づく作品を創造します。
- ・公共文化施設における新たなモデルを追求します。
- ・私たちの活動のすべてに創造性を発揮します。

#### ◎ 「感動を分かち合う」

- ・私たちの活動のすべてにおいて、あらゆるバリアを取り除くことを推進します。
- ・広く県域に向けて豊かな芸術文化の体験を届けます。
- ・あらゆる人々が主体的に鑑賞し、体験し、創造する喜びを享受できるようサポートします。
- ・広く社会に向けて芸術文化に関する価値ある情報を発信します。

#### ◎ 「つねに考える」

- ・私たちの社会や未来はどうあるべきか、  
私たちは社会とどのように関わっていくのか、  
人々や社会、芸術文化にとって大切なものとは何か、  
私たちの活動によって問い続けます。

#### ◎ 「未来につなぐ」

- ・私たちは芸術文化を次世代へ継承します。
- ・事業活動において、環境負荷を減らし、持続可能な取組を推進します。
- ・私たちの活動に共感し支援してくださるサポーターを獲得します。
- ・芸術文化の担い手の育成を行います。

## ■期待される役割

### 芸術劇場

- ・高度な舞台創造機能（専門人材とそのノウハウやネットワーク、舞台技術設備）を活かし、県民の多様な鑑賞ニーズや社会の要請に応える、優れた演劇・ダンス・ミュージカル・現代美術作品を創造・上演（展示）する。
- ・劇場法の趣旨に則った創造型劇場としてのモデルを体現するために、先進的な取組を続けていく。

### 音楽堂

- ・日本初の公立音楽専用ホールである歴史を継承しながら、木のホールの特性を活かし、県民に親しまれる音楽堂として、多彩な音楽プログラムを制作し提供する。
- ・神奈川県指定重要文化財として、その価値を守り、県民と共有する。

### 2館共通

- ・施設の魅力・特性を活かして、多様な利用者による上演を誘致し、県民に多様な鑑賞機会を提供する。
- ・県民に芸術文化への参加の機会を提供し、またそれを支援する。
- ・海外との文化交流等を通じ、国際性を養い、また多文化共生の理解を促進する取組を行う。
- ・県民すべてが心豊かに暮らす力を得ることの出来る、社会の「広場」となる。
- ・サービス水準の維持向上を図り、効果的・効率的な運営を行う。

### 県域展開事業

- ・県民ホール休館を受け、またその再開を見据えながら、県域全体を芸術文化の鑑賞と参加・創作の場とし、県民と芸術文化とを繋ぐ活動を行う。
- ・県域各地で、芸術文化の振興を通じ地域の活性化とにぎわいの創出を目指す。
- ・神奈川県と共に実施する「神奈川県美術展」のあり方を改めて検討する。

### 全体共通（社会連携ポータル部門を中心に対応）

- ・これからの舞台芸術を担う専門人材やアーティストの育成を行う。
- ・次代を担う子どもたちや若者に、上質な鑑賞機会や参加の機会を提供する。
- ・様々な鑑賞サポートやバリアフリーの取組により、障がい者や高齢者、また貧困や社会的養育のもとにある子どもたちを含め、あらゆる人々が芸術文化に親しめる環境の構築を目指す。
- ・県内各地域、また周辺地域の文化施設や芸術団体等とネットワークを構築し協働を図る。

## ※「社会連携ポータル」部門とは

これまで、各館でそれぞれに取り組んできた課題のうち、

- ①専門人材の育成：これからの舞台芸術を担う専門人材やアーティストの育成を行う。
- ②教育との連携：次代を担う子どもたちや若者に、上質な鑑賞機会や参加の機会を提供する。
- ③社会包摂への取組（インクルーシブアプローチ）：様々な鑑賞サポートやバリアフリーの取組により、障がい者や高齢者、また貧困や社会的養育のもとにある子どもたちを含め、あらゆる人々が芸術文化に親しめる環境の構築を目指す。
- ④地域との連携：県内各地域、また周辺地域の文化施設や芸術団体等とネットワークを構築し協働を図る。

について、財団全体に共通する課題として総体的に取り組むため、社会連携ポータル部門に知識や経験といった機能を集約し、対応してきた。今後、この機能をさらに強化し、社会と芸術をつなぐ窓口＝ポータルとしての役割を果たせるよう引き続き取り組んでいく。

## ■重点テーマ

### 全県域との連携促進一繋がりの実現

- ・神奈川県下の各地域において、それぞれの地域ニーズを聞き取りながら、各自治体や芸術団体と連携して事業を企画・実施し、広く県民に芸術鑑賞機会や創造体験を届けます。また、県民ホールにおける多様な音楽・美術事業創作のレガシーや第4期指定管理期間に発足した社会連携ポータル部門で培った県域連携の取組を活かし、全県を活動の場として豊かな創造に挑みます。
- ・芸術劇場が創造・発信する質の高い作品の巡演を県内外各地で実施します。

### 2館の特色を活かした上での運営の一体的な推進

- ・芸術劇場は芸術劇場芸術監督のリーダーシップの下、音楽堂は音楽芸術参与による監修を受けながら、それぞれの個性・特性をより強く打ち出した企画立案を行い、館のブランディング強化を目指します。
- ・芸術劇場では、中華街や元町など地域コミュニティとの連携により、また音楽堂においては、横浜・紅葉ヶ丘地区の文化施設連携による地域活性化に取り組めます。
- ・より有効かつ的確な運営を目指し、これまで積み上げてきた一体的な運営のノウハウを活かしながら、またさらなる共通機能の一体化を行います。

## あらゆる人々へのひらかれた場の実現

- ・「ともに生きる社会」を目指し、社会連携ポータル部門を中心に、高齢者や障がい者、また子ども、若者に向けた鑑賞サポート等の拡充やあらゆるサービスのユニバーサルデザイン化推進など、事業や運営のインクルーシブネスを高めていきます。
- ・広く県域で、その地域のニーズに合った芸術鑑賞機会や創造体験を届けることを目指します。
- ・芸術愛好家のためだけではない、あらゆる人々のための芸術文化の提供を目指します。

## 変化する社会環境への対応と未来への視点

- ・「ともに生きる社会」をつくるための、持続可能な社会インフラストラクチャーとしての公立文化施設のモデルを追求します。
- ・常に変化する情報セキュリティ環境に対応する体制を確立します。
- ・子ども、若者が、芸術鑑賞や創造を体験する機会創出に一層取り組みます。
- ・芸術文化を支える専門人材の育成に積極的に取り組みます。
- ・財源の多様化を図るため、寄付金の拡充をはじめとする外部資金の獲得に注力します。

※次頁以降の凡例（**公1**、**収1**、**収2**及び**法人**）は、公益認定及び会計上の分類を示す。

### ◆公益目的事業

**公1** 芸術文化事業及びそのための施設運営に関する事業、芸術文化の情報収集提供、調査研究及び人材育成

### ◆収益事業

**収1** 駐車場の運営に関する事業

**収2** 大会、集会、会議等芸術文化以外の施設運営に関する事業

### ◆法人会計

**法人** 法人の運営に関すること

## Ⅱ 令和 8 年度における財団の運営方針

財団は、先に掲げた「理念」と「ミッション」を柱とした芸術文化事業を展開していく。

2 館においては、それぞれの個性・特性を活かし、上質で多彩な芸術文化プログラムで人を引きつけ、にぎわいを創出し、多くの県民に芸術の鑑賞、創造、参加等の機会を提供するとともに、神奈川からの文化の発信を行う。また、県域展開事業においては、神奈川県各地域において、地元とともに県民と芸術文化をつなぐ多彩な取組を、県民ホール本館の再開を見据えて展開実施する。あわせて社会連携ポータル部門を推進力として、あらゆる人々に舞台芸術の鑑賞・参加の機会を提供し、芸術文化を通じて共生社会の実現に引き続き取り組む。

### 1. 芸術文化事業 図1

#### (1) 芸術劇場

2 期目を迎える長塚圭史芸術監督のもと、神奈川県における芸術文化振興の拠点として、また日本の舞台芸術創造を牽引する劇場のひとつとして、1 期目の成果と課題を踏まえ、より一層質の高い作品の創造発信や人材育成等により、芸術が社会に発揮しうる力を実現し、公立劇場だからこそ生み出せる価値の創出を目指していく。

年間を通じた自主事業プログラムや劇場広報を通じて、これまで培ってきた知見や人脈、高機能な劇場設備、それらを活用する専門人材、劇場間ネットワーク、地域との連携、ファンドレイズ等のリソースを積極的に展開・活用、また育成・拡充し、劇場と財団のミッションを踏まえ、高い芸術性を担保しながら、多様な創造発信をおこなう。同時に、貸館として上質な演劇・ミュージカル等を戦略的に誘致し、広く県民の鑑賞ニーズに応えるとともに、創造性を重視した自主事業と合わせ、魅力的で安定した事業ポートフォリオを構成する。

また、多様なプログラムを提供するために、劇場の活動にリズムを持たせ、一体的な広報展開による発信力の強化を図ると共に、より県民に親しまれる劇場を目指す。

特に、秋から冬を「メインシーズン」と銘打ち、そこでは毎年度掲げるテーマに沿った作品を中心に、作家性や独自性の高い企画を厳選して集中的に実施し、多様な価値観、美意識、そして舞台芸術の悦びを県民に提供する。また、年間を通じて、ひらかれた劇場として県民の方々をつながることを目指す中で、特に春から夏にかけては、舞台に触れることの少ない方々に、劇場の存在を知っていただき、また観客となる体験を提供することを主眼として企画する。

「メインシーズン」のテーマには、1 期目の取組を発展させ、より発信力を持つものとするために、具体的な言葉を選びまた英語でも表現する。令和 8 年度のテーマは、『Why do people draw the lines ? / なぜ人は線を引くのか』とし、このテーマに沿った 3 演目を企画し発信していく。

**補記**：貸館事業は施設管理運営事業の一部であるが、一体的な構想を示すために、本項にも記載する

Why do people draw the lines?

なぜ人は線を引くのか

私たちは線を引かれた社会に暮らしている。

そして日々あらゆるところで、

線を増やし続けている。

意識的に引かれる線もあれば、無意識で生まれる線もある。

野生動物もちろん、必要に応じて線を引く。

群れがそうだ (家族がそうだ)。

巣がそうだ (全ての建築がそうだ)。

縄張りがそうだ (国家がそうだ)。

インターネットや SNS は既存の社会の線を吹き飛ばした。

私たちは線から解放され、個々が出会い、声を交わすことが出来るようになった。

ところがこの優れた道具は、社会の線をより濃く、太く、時に有刺鉄線、導火線へと育てる。

個に届く声は大きく、強く、不安や勇気を増長する。

線のない自由な世界であったはずなのに、白黒がこれまで以上に分かれ始める。

よりはっきり、よりくっきりと。

あなたと私は違う。

私たちとあなたたちは違う。

どこが違うのでしょうか？

なぜ私たちは線を引くのでしょうか？

長塚圭史

<公演事業一覧>

4月上旬	アトリエ 大スタジオ	『スプーンフェイス・スタインバーグ』試演会 作：リー・ホール 演出：小山ゆうな
5月2日(土) ～5月5日(火)	中スタジオ	KAAT キッズ・プログラム 2026 『さかさまの世界』 振付・演出：伊藤郁女
5月17日(日) ～6月14日(日)	中スタジオ アトリウム	KAAT EXHIBITION 2026 『三沢厚彦+棚田康司 彫刻される劇場』
5月中旬～6月中旬	中スタジオ アトリウム	KAAT EXHIBITION 2026 関連企画
6月12日(金) ～6月14日(日)	大スタジオ	『Love Beyond Act of Remembrance』 作：ラメシュ・メイヤッパン 演出：マシュー・レントン
8月中旬	中スタジオ	KAAT キッズ・プログラム 2026 『子どものための美しい国(仮)』 原作：ヤヌシュ・コルチャック 脚本・演出：ノゾエ征爾

<メインシーズン>

10月中旬 ～11月1日(日)	大スタジオ	『ジャングル』 作：ジョー・マーフィー、ジョー・ロバートソン 演出：長塚圭史
10月下旬 ～11月8日(日)	ホール	『蛙昇天』作：木下順二 演出：ウォーリー木下
11月28日(土) ～11月29日(日)	ホール	KAAT DANCE SERIES 『Close Up』振付：ノエ・スーリエ
12月19日(土) ～12月29日(火)	ホール	『ジャズ大名』原作：筒井康隆 上演台本・演出：福原充則
令和9年1月中旬 ～1月31日(日)	大スタジオ	『スカイライト Skylight』 作：デイヴィット・ヘア 演出：杉原邦生
1月下旬～2月上旬	中スタジオ	『もうちょっとしたら、このあたりで(仮)』 作：兼島拓也 演出：田中麻衣子
2月5日(金) ～2月14日(日)	複数施設	『YPAM - 横浜国際舞台芸術ミーティング 2027』

■ミッション「創造に挑む」[5事業]

開催予定日	会場	公演名・企画名	内容
10月中旬 ～11月1日(日)	大スタジオ	『ジャングル』	<p>&lt;メインシーズン&gt; (テーマシリーズ)</p> <p>本作は、フランス北部のカレーに実在した難民キャンプ「ジャングル」での出来事をもとに、ヨーロッパ諸国で大きな社会問題となっている難民キャンプを描いた作品。2018年ロンドンでの初演時には、その同時代性、多国籍なキャスティングと臨場感のある舞台美術で大きな話題となり、その後世界各地で上演されている。この戯曲に長塚圭史芸術監督演出のもと、KAATと劇団・阿佐ヶ谷スパイダースの共同制作に加え、神奈川県民の参加を募り共に挑む。この戯曲に描かれた「分断」や「不寛容」は、今日本に住む私たちも当事者として直面している問題であり、劇場と劇団と街が一体となって、それらを観客に問いかける意欲作となる。</p>
10月下旬 ～11月8日(日)	ホール	『蛙昇天』	<p>&lt;メインシーズン&gt; (テーマシリーズ)</p> <p>戦後、米ソ冷戦が激しさを増していた時期を背景に、当時の日本社会を揺るがせた事件「徳田要請問題」を、寓意あふれる蛙の世界に写しとった、木下順二の戯曲『蛙昇天』を上演する。演出は、KAAT初登場となるウォーリー木下。東京パラリンピック開会式の独創的かつ包容力のある演出は、異なる価値観や立場の違いをつなぎ、国内外で高い評価を受けた。誠実に生きたいと願った青年が、苛烈な政治的対立の抗争の場に置かれ、翻弄されていく濃密な会話劇を、より広い観客層に届けるべく、ホールのスケールを活かした上演を目指す。</p>
5月17日(日) ～6月14日(日)	中スタジオ アトリウム	KAAT EXHIBITION 2026 『三沢厚彦+棚田康司 彫刻される劇場』	<p>毎年開催している劇場空間と現代美術の融合による新しい表現を生み出す展覧会 KAAT EXHIBITION。令和8年度は、「ANIMALS」シリーズで知られる日本を代表する彫刻家の三沢厚彦と日本古来の一木造で人物像を彫り続ける棚田康司、神奈川ゆかりの彫刻家2名による展覧会を開催する。著名な彫刻家たちが劇場空間と舞台技術を駆使して生み出す表現により、美術館</p>

			<p>とは異なる新たな鑑賞体験を提供し併せて、施設来場者層の拡大を目指す。</p> <p>また、ひらかれた劇場を目指し、舞台芸術鑑賞体験の入口となるよう、代表的な作品をアトリウムで展示する。その展示空間を使ったパフォーマンスも計画し、多様な芸術の融合を目指す。</p>
令和9年1月中旬 ～1月31日（日）	大スタジオ	『スカイライト Skylight』	<p>&lt;メインシーズン&gt;</p> <p>イギリス現代演劇を代表する劇作家・デイヴィット・ヘアによる3人芝居。1995年のロンドンでの初演の後、各賞を受賞、時代を超えてもなお評価されている傑作。ある男女の会話を中心に、知的で緻密な言葉が重ねながら人それぞれの価値観や生き方の違いが描かれる。上質な会話劇を提供することで、プログラムのヴァリエーションを増やし、観客増を目指す。演出は、新境地を広げる杉原邦生。また舞台美術デザインの公募を計画している。</p>
令和9年1月下旬 ～2月上旬	中スタジオ	『もうちょっとしたら、このあたりで (仮)』	<p>&lt;メインシーズン&gt; (テーマシリーズ)</p> <p>沖縄在住の新進劇作家・兼島拓也の書き下ろし、沖縄に出自を持つ田中麻衣子の演出による新作公演の第二弾。両氏による『ライカムで待っとく』は、令和5年度の初演時に、第30回読売演劇大賞優秀作品賞受賞他の高い評価を受け、令和6年度には再創作による上演を行い、その社会性、同時代性、また演劇性が大いに話題を呼んだ。その成果を受け、再度沖縄と日本社会をテーマに新作に挑む。</p> <p>今回は、近未来、神奈川県に位置する架空の人工島へ沖縄から移り住んだ夫婦を中心に展開する物語を通して、沖縄という土地やそこに生きる人々が辿ってきた道を浮き彫りにし、沖縄が今なお抱える自由や安全、差別の問題について観客に問いかける。</p> <p>YPAMと時期を重ね、YPAMにおける演劇の持つ力、批評性の表出に貢献すること、海外の演劇関係者への紹介も目指す。</p>

■ミッション「感動を分かち合う」[8事業]

開催予定日	会 場	公演名・企画名	内 容
5月2日(土) ～5月5日(火)	中スタジオ	KAATキッズ・プログラム2026 『さかさまの世界』	フランスを拠点に活動する振付家の伊藤郁女による子供向けのダンス作品。自作の紙芝居を通じて収集した子どもたちの様々な“秘密”を素材に創作した初演(令和5年度)は、舞台と客席が一体となった珠玉の作品となった。レパートリー化を目指し、再演を実施する。
5月中旬 ～6月中旬	アトリウム 中スタジオ	KAAT EXHIBITION 2026 関連企画	中スタジオおよびアトリウムで実施するKAAT EXHIBITION『三沢厚彦+棚田康司展』の関連企画として、アトリウムにて複数のパフォーマンス作品を無料上演する。展示作品とのかかわりを意識した作品を上演し、美術とパフォーマンス双方の新たな見方の可能性を提示する。同時に、“ひらかれた劇場”を目指し、道行く人が立ち寄って気軽に楽しむことができる作品をバラエティ豊かにプログラムする。
6月12日(金) ～6月14日(日)	大スタジオ	『Love Beyond Act of Remembrance』	聴覚に障がいがあり認知症を患った主人公が、介護士に支えられながら、自分自身に残された妻との記憶と向き合う物語。イギリスを拠点に活動するシンガポール人演劇アーティスト、ラメシュ・メイヤッパンの劇作と主演による本作は、2023年エジンバラでの初演以来、各国で上演されており、これを高知県立美術館等と共同で招聘する。繊細かつ視覚的に豊かな舞台表現を特徴とし、『品川猿の告白』の演出で記憶に新しい、マシュー・レントンによる演出によって、鮮やかに描かれる。  聴覚障がいのある主人公と聴者である介護士が意思を通わせていく様子を、聴覚障がいのある観客と聴者の観客双方が体験し共感できる上演を目指す。
8月中旬	中スタジオ	KAATキッズ・プログラム2026 『子どものための美しい国(仮)』	“大人も子どもも楽しめる”ことを目標に掲げ、毎夏実施しているKAATキッズ・プログラム。ポーランドの教育者であり児童文学作家のヤヌシュ・コルチャックが1923年に発表した『子どものための美しい国』をキッズ向け演劇作品として上演する。脚本・演出を手

			掛けるのは、劇団はえぎわの主宰であり、俳優、脚本家、演出家として活躍するノゾエ征爾。国王である父を亡くし、子どもながら王位につくことになった少年マツトは、<子どもたちのための国>を作ろうと決意し、さまざまな困難に立ち向かっていく。子どもの純粋さ、理想と現実との葛藤を描かれたこの作品には、「子どもにも声があり、世界を変える力がある」というメッセージが込められている。
12月19日（土） ～12月29日（火）	ホール	『ジャズ大名』	<p>&lt;メインシーズン&gt;</p> <p>小説家筒井康隆の傑作小説「ジャズ大名」の舞台化。脚本・演出には話題作を発表し続ける演出家・福原充則、音楽にはジャズの周辺で幅広い活動を行う関島岳郎を起用。令和6年度の初演では、芸術性と大衆性が融合した稀有な作品として、好評を博した。その成果を受け、過去の作品を劇場の財産として、より多くの県民に鑑賞機会を提供する取組として、再演を実施する。</p> <p>ホールの大空間を存分に使い、また県民参加の場面を作るなど工夫を凝らし、さらに幅広い客層に向けて作品を提供することを目指す。また県外公演も企画し、KAATの創造性、独創性を発信していく。</p>
通年	アトリウム 他	フレンドシップ プログラム	<p>年間を通じて、街の一部である劇場、街に飛び出す劇場、またあらゆる人々にひらかれた劇場を目指し、演劇・音楽・ダンス・現代美術・トークイベントなど多様な催しを、アトリウムを活用し開催する。また、劇場を身近に感じていただき、劇場の魅力を知っていただくために、定期的にバックステージツアーを開催する。</p>
通年	複数施設	提携事業	<p>KAATの劇場イメージを向上させる上質な演目や集客力で地域の賑わいを創り出す演目を提携公演として誘致し、主催公演とあわせてKAAT全体の公演ラインナップを充実させる。</p> <p>(令和7年9月現在)</p> <p>4月、8月 神奈川県演劇連盟 4月 劇団た組 5月 R plays company、劇団趣向 6月 まつもと市民芸術館 7月 地点 8月 横浜夢座 9月 ミュージカル『アニオー姫』、 CCCreation</p>

			11月 庭劇団ペニノ、劇団範宙遊泳、ハラサオリ 12月 モルドバ国立サチリクス国立劇場 ×地点
通年	複数施設	共催事業	舞台芸術人材の育成に資する催しや国際文化交流に寄与する公演を、他の団体と共同し実施する。  3月 かながわ短編演劇アワード ほか

### ■ミッション「つねに考える」[4事業]

開催予定日	会場	公演名・企画名	内容
4月上旬	アトリエ 大スタジオ	『スプーンフェイス・ スタインバーグ』 試演会	癌に侵され、死んでいく少女スプーンフェイスが、マリア・カラスの歌うオペラの aria とともに「死んでいく自分」について考え、その死と向かいあっていくモノローグドラマ。演出小山ゆうな、片桐はいり・安藤玉恵のダブルキャストによる令和5年度の初演は好評を博した。本作を、今後KAATのレパートリー作品として長く上演をしていくために、セットや演出を見直し、県内外において、劇場での上演のみならず、学校、カフェなど劇場ではない場所にも赴いて上演できるような方法を探り、翌年度以降の上演に向けて試演会を実施する。
令和9年 2月5日(金) ～2月14日(日)	ホール 大スタジオ 他	『YPAM－横浜国際舞台 芸術ミーティング 2027』	<メインシーズン>  国内唯一かつアジアで最も影響力のある舞台芸術プラットフォームとして国際的に認知されてきた「YPAM－横浜国際舞台芸術ミーティング」は、国際的芸術交流の深化、発展とともに、地域との結びつきを深めていくこと、また国内の舞台芸術関係者が、世界の同時代的な舞台芸術やその関係者と出会い「考える」場となることを目指している。KAATは、公演プログラムの主会場として劇場各施設を最大限に活用し、多様な作品の上演を行う。
通年	複数施設	『カイハツ』	必ずしも上演を目的とせずに様々な創作の可能性を探る場を、演出家・振付家・俳優・ダンサーたちに提供する。数多くのアーティストが出入りし、劇場が常に考える場、豊かな発想を生み出す場となることを目指す。企画・人材カイハツの参加アーティスト・企画

			は、令和8年度も公募によって行う。(7年度は、90企画の応募。)また、国内外の戯曲の発掘、情報収集も継続的に行い、今後の企画立案に繋げていく作品のディベロップメント事業としても位置付ける。
年2回程度	調整中	グリーンシアター・ワークショップ	(後掲)

■ミッション「未来につなぐ」[2事業(再掲除く)]

開催予定日	会場	公演名・企画名	内容
年2回程度	中スタジオ 他	KAAT×国立劇場 『つたえつなぐ』	国立劇場と連携し、古典芸能をわかりやすく紹介する講座を開催する。現代演劇やダンスのアーティストをファシリテーターとして起用し、古典の魅力を観客に紹介するとともに、また現代の舞台芸術に繋げる機会を創出する。
11月28日(土) ～11月29日(日)	ホール	KAAT DANCE SERIES 『Close Up』	<メインシーズン> 海外から同時代性の高いコンテンポラリーダンス作品を招へいし、新たな鑑賞体験の提供を目指す。本年は、独創的な身体言語を探求し、ヨーロッパダンス界でその活動が常に注目を集めるフランスの振付家、ノエ・スーリエの話題作『クローズ・アップ』を日本で初めて上演する。また、本事業は企業協賛を獲得し実施する。
通年	複数施設	『カイハツ』	(再掲)

KAAT人材育成事業

以下の事業を社会連携ポータル部門と連携し実施する。

開催予定日	会場	公演名・企画名	内容
年2回	調整中	インターンシップ 《社会連携ポータル事業P.31》	現場での実務を通して、公立文化施設のあり方や、事業制作・劇場運営、または舞台技術の基本的な業務について実践的に学ぶ場

			を提供する。劇場運営と舞台技術の2コースで開催する。
年2回程度	調整中	舞台技術講座 《社会連携ポータル事業P.31》	プロフェッショナルとして活動している舞台技術者が、専門分野を超えて視野を広げ、スキルアップする講座を実施する。
年2回程度	調整中	グリーンシアター・ワークショップ 《社会連携ポータル事業P.31》	環境に配慮し持続可能な舞台芸術を考えていく場として継続して開催する。
通年	ホール 他	大学連携 《社会連携ポータル事業P.31》	大学や研究者と文化施設が協働し、文化施設が教育の場となっていく取組を継続して行う。
調整中	大スタジオ 他	教育機関連携事業 《社会連携ポータル事業P.32》	県立神奈川総合高等学校舞台芸術科の教育課程の一部として、劇場施設を活用した講座を開催する。

## (2) 音楽堂

音楽堂は、昭和29年の開館から70年以上にわたり、県民と共に神奈川県内の文化発展に貢献してきた。令和8年度も、引き続き空間の音響特性を活かした、独自性と上質性を兼ね備えたラインアップを展開する。

「音楽堂ヘリテージ・コンサート」では、音楽堂と固い絆で結ばれたファビオ・ビオンディとエウローパ・ガランテをはじめとした、古楽の魅力を生き生きと伝えるトップアーティスト3組を取り上げ、音楽堂の音響と歴史性を活かして、世界レベルの音楽体験を提供する。

地域の人々に向けてホールを開き、次世代を呼び込むことをめざす「子どもと大人の音楽堂」では、多言語・多文化の背景をもつ子どもたちを主な対象とした「せかいはともだち！」と、主に30代以降の働き世代を中心に、音楽堂の空間で音楽を味わう「大人のための音楽堂」を開催するほか、新たに、平日昼間に気軽にコンサートとマルシェを楽しむ「朝の音楽堂」シリーズをスタート。地域に根差し、いっそう愛されるホールを目指す。

従来表現・思考のスタイルにとらわれない新しい表現を紹介する公募プログラム「紅葉坂プロジェクト」では、発表公演に加え、歴代企画委員やこれまでの採択者たちによる「紅葉坂プロジェクト」の振り返り総括や、以降の公募のありかたの検討を行い、創造に挑む場、つねに考える場としての音楽堂をアピールしていく。

その他県民参加の「メサイア全曲演奏会」、また「先生のためのアウトリーチ」、「インターンシップ」、「紅葉ヶ丘まいらん」、「建築見学ツアー」等の取組で、重要文化財としての価値を高めつつ、次世代の人材育成や、地域に開かれ、音楽文化の振興をはかる公共ホールとしての役割を追求する。

### ■ミッション「創造に挑む」[1事業]

開催予定日	会場	公演名・企画名	内容
<b>紅葉坂プロジェクト</b>			
①7月11日(土) ②8月 ～令和9年3月	音楽堂	〈公募プログラム〉 紅葉坂プロジェクト ① Vol. 5 本公演 ② 番外編 準備	①令和7年度に公募し、沼野芸術参与を委員長とする審査会で採択した団体約2組による公演 (Vol. 5) の実施。  企画委員：市川紗椰、ヲノサトル  横浜みなとみらいホールと連携し、広報展開を行う。  ②「番外編」と題し、紅葉坂プロジェクトVol. 1～Vol. 5までに参加した13団体の企画者、7名の企画委員へのアンケート調査・ヒアリングや、その後の活動にフォーカスしたショーケースを計画。この準備を行う(事業開催は令和9年7月)。

### ■ミッション「感動を分かち合う」[4事業]

開催予定日	会場	公演名・企画名	内容
<b>&lt;音楽堂ヘリテージ・コンサートシリーズ&gt;</b>			
※セット券を発売するなど、シリーズ展開を行う			
7月19日(日)	音楽堂	ヘリテージ・コンサートⅠ タリス・スコラーズ	音楽堂には初登場となる、ピーター・フィリップス(指揮)率いる世界最高のアカペラ声楽アンサンブル。門外不出の秘曲、アレグリの「ミゼレーレ(神よ、憐れみたまえ)」のほか、パレストリーナなど、ルネサンス音楽を代表する作曲家の声楽曲を演奏する。
11月6日(金)	音楽堂	ヘリテージ・コンサートⅡ	音楽堂と固い絆で結ばれたファビオ・ビオンディ&エウロパ・ガランテによる、ヴィヴァルディの「四季」をはじめとした、イタ

		ファビオ・ビオンディ 指揮 エウローパ・ガランテ	リアン・バロックの魅力を堪能できる演奏会。公演日前日に、学生を対象とした公開リハーサルを行う。  アクロス福岡、ハーモニーホールふくいとの連携事業。
11月23日 (月・祝)	音楽堂	ヘリテージ・コンサートⅢ アンドレアス・シュタイアー チェンバロリサイタル	鍵盤楽器の鬼才、アンドレアス・シュタイアーによる、J.S. バッハの不朽の名作「ゴルトベルク変奏曲 BWV988」。円熟のチェンバロ演奏を木のホールbに響かせる。15年ぶりの登場。
<b>朝の音楽堂</b> ※セット券を発売するなど、シリーズ展開を行う			
① 9月24日 (木)  ② 11月18日 (水)  ③ 12月23日 (水)	音楽堂	①三浦謙司  ②務川慧悟  ③田所光之マルセル	施設の空き日を活用し、平日11時開演/約60分程度の、気軽なシリーズを新たに開始する。初年度はピアノに焦点を当て、知名度の高い3名のピアニストを選定し、自身の「ポートレート」となるようなオリジナリティあふれる選曲を行う。音楽堂の優れた音響と、充実の演奏を低廉な価格で堪能いただく。今回の出演者は「横浜市招待国際ピアノ演奏会」の過去の出演者であることから、横浜みなとみらいホールと連携し、広報展開を行う。  ホワイエでは、神奈川県内のパンや茶菓、生鮮野菜等の販売者を誘致したマルシェを開催し、音楽堂に親しむ機会を提供する。

### 【共催事業】 [3事業]

開催予定日	会場	公演名・企画名	内容
ホリデー・アフタヌーン・コンサート			
① 4月19日(日) ② 5月16日(土) ③ 6月20日(土) ④ 7月4日(土)	音楽堂	① 山根一仁&小林海都 ② 實川風 ③ 辻本玲 ④ ヴィオラ演奏集団	若手日本人中心の人気・実力ともに優れた演奏家による休日昼間のコンサートシリーズ [主催：神奈川芸術協会]

⑤ 9月13日(日) ⑥ 10月12日 (月・祝) ⑦ 11月15日(日) ⑧ 12月6日(日) ⑨ 令和9年 1月9日(土) ⑩ 3月14日(日)		SDA48 ⑤ クアルテット・エクスプローチェ ⑥ 笹沼樹 ⑦ 中川優芽花 ⑧ 久末航 ⑨ 調整中 ⑩ 北村陽	
---	--	---	--

**高橋アキ モートン・フェルドマン生誕100年記念**

5月2日(土)	音楽堂		2026年に生誕100年を迎える作曲家、モートン・フェルドマン。生前親交が深かったピアニスト・高橋アキが、1950年代～1985年代までの6作品を紹介する、約3時間半の充実のコンサート。 [主催：カメラータ・トウキョウ]
---------	-----	--	---

**その他共催**

開催予定日	会場	公演名・企画名	内容
① 4月18日(土) ② 4月29日 (水・祝) 5月24日(日) ③ 6月13日(土) 6月14日(日) 6月27日(土) 6月28日(日) ④ 5月30日(土) 7月18日(土)	音楽堂	① 第49回全日本お かあさんコーラス 神奈川県大会 ② かながわ音楽コン クール(ユースピ アノ部門/ヴァイ オリン部門) ③ 神奈川県合唱祭 ④ 神奈川フィルハー モニー管弦楽団音 楽堂シリーズ	県域で活動する音楽団体による音楽祭、シリーズ公演、コンクール等で、県民や愛好者に鑑賞、活動、研鑽の機会を提供する。また、県の施策に資する共催公演を実施する。

令和9年 1月30日(土) 3月6日(土) ⑤ 8月8日(土) 8月9日(日) ⑥ 9月20日(日)  ⑦ 10月6日(火) ～10月8日(木) ⑧ 11月19日(木) ～11月22日(日) ⑨ 11月29日(日) ⑩ 令和9年 2月11日 (月・祝)		「Classic Modern」(全4回)  ⑤ 神奈川県合唱コン クール  ⑥ 神奈川オペラフェ スティバル オペ ラ・ガラ・コンサ ート  ⑦ 音楽堂おかあさん コーラス  ⑧ 横浜コンペティシ ョン  ⑨ 神奈川県名流三曲 祭  ⑩ 神奈川県合唱フェ スティバル	
--	--	---	--

■ミッション「つねに考える」[2事業(再掲除く)]

開催予定日	会 場	公演名・企画名	内 容
① 7月11日(土) ② 8月 ～令和9年3月	音楽堂	〈公募プログラム〉 紅葉坂プロジェクト ① Vol. 5本公演 ② 番外編 準備	(再掲)
通年1回	音楽堂	街なかトークカフェ (仮)	音楽堂ヘリテージ・コンサート等の主催 公演に先立つ関連企画として、プログラ ムの背景や意義、聴きどころなど知識を深め るとともに、講師と、また参加者同士の対話 や交流の場になることを目指す。  講師：調整中

通年 3 回程度	県内他会場 (調整中)	オペラ普及事業 (仮)	2029年・開館75周年でのオペラ公演実施を目標に、オペラ愛好者の裾野を広げるべく、濱田芳通&アントネッロと協働し、県域でのオペラ普及事業を展開する。
----------	----------------	-------------	---

### ■ミッション「未来につなぐ」[8事業]

開催予定日	会 場	公演名・企画名	内 容
5月30日(土) 7月18日(土) 令和9年 1月30日(土)	音楽堂	小中高生のための公開リハーサル 《社会連携ポータル事業・P.30》	共催する神奈川フィルハーモニー管弦楽団の音楽堂定期演奏会開催にあわせ、同オーケストラとの連携により、音楽堂主催で公開リハーサルを実施し、青少年への音楽体験の提供を行う。
11月6日(金)	音楽堂	学生のための公開リハーサル《バロック・アンサンブルの秘密》 (仮)	同時に開催する「ファビオ・ビオンディ指揮エウローパ・ガランテ」の演奏会に先駆け、小学生以上、大学等までの学生を主な対象としたリハーサル公開を行うほか、オーケストラメンバーとの学生との交流を行う。
8～9月	調整中	インターンシップ 《社会連携ポータル事業・P.31》	社会連携ポータル部門を主体として、インターンシップを実施。特に大学生・大学院生等が参加しやすい夏休み時期に集中して開催。
令和9年 1月16日(土)	音楽堂	子どものための音楽堂「せかいはともだち！」	音楽堂全館を使って、コンサートやホワイエイベント、ワークショップなど多彩な体験をする親子イベント。社会連携ポータル部門と協働し、特に多文化共生に重点をおきながら、インクルーシブ視点を取り入れ開催。
令和9年 3月20日(土)	音楽堂	大人のための音楽堂	20～50代をターゲットに、「音楽堂で大人がしっとりと音楽にひたる1日」をテーマとした、クラシックに限定しないライブイベント。出演：五十嵐紅トリオ、ジェントルフォレストジャズバンドほか。
12月13日(日)	音楽堂	第59回音楽堂クリスマス音楽会 ヘンデル「メサイア」 全曲演奏会	県民が参加する合唱団と神奈川フィルハーモニー管弦楽団による公演。指揮に大塚直哉を迎え、高校生による「未来プロジェクト」も継続する。

調整中	音楽堂	建築見学ツアー	前川國男設計による戦後モダニズム建築の傑作として評価される、音楽堂の建築の魅力を紹介するツアーを行う（年3回程度）。
通年	音楽堂 県内各施設	アウトリーチ 《社会連携ポータル事業・P.30》	社会連携ポータル部門を主体として、主に小学校の教員を対象にする「先生のためのアウトリーチ」を実施。県内各地にアーティストを派遣し、先生方にアーティストによるワークショップ型のプログラムの体験機会をつくり、今後の子どもたちへの授業のヒントになることを目指す。  また、昨年度からの新たな試みとして、教科研単位ではなく、教員個人単位で参加できる研修会を実施し、アウトリーチの意義や効果、また実際のプログラムを体験できる場を設ける。アウトリーチと研修を合わせて、年間3回程度実施。

### （3） 県域展開事業

昭和50年に開館し、国内有数の大型文化施設・多目的ホールとして、神奈川県のアート文化振興を担ってきた県民ホールは、令和7年3月31日をもって休館し、現在、神奈川県が建て替えによる再整備に向けた検討を行っている。

そのような議論が行われる中、神奈川芸術文化財団は、今後も県民ホールのレガシーを継承し、財団の理念とミッションを軸に据えた事業を、神奈川県及び県内33市町村と連携して、県内全域の文化施設や地域コミュニティの中核となる公共スペース等で展開していく。そのことにより、県民ホール休館に伴う県民の芸術文化活動や鑑賞機会の減少を補い、地域の文化資源の活用や文化振興のための環境整備の取組を充実させるものとする。

また、その取組の中で、地元行政、芸術団体、各劇場や会館との協働を重ね、県内各地の多様なニーズを把握し、それに応える事業を実施することにより、文化芸術による地域社会の活性化を図るとともに、次世代を育成し未来へと継承する取組につなげる。さらに、神奈川県民の、県民ホール再整備への期待を高め、常に芸術文化が身近な存在として受け止めてもらえる展開を行う。

■ミッション「創造に挑む」 [5事業]

開催予定日	会場	公演名・企画名	内容
①令和9年 2月6日(土)  ②2月13日(土)	①【秦野市】 秦野市文化 会館  ②【寒川町】 寒川町民セ ンター	県内オペラ展開シリ ーズVol. 2  ロッシーニ： オペラ「絹のはしご」  全1幕（イタリア語 上演／日本語字幕）	休館前の県民ホールが上演し続けてきた オペラの制作ノウハウを継承し、令和7年度 から新たに開始した県内オペラ展開シリ ーズ。  シリーズ第2回目は、より多くの人々にオ ペラの魅力を伝えることを目的とし、ロッシ ーニの1幕オペラ「絹のはしご」を上演する。 専門性と親しみやすさを兼ね備えた構成に より、多様な観客層への訴求を図る。  特にロッシーニのオペラ作品に深い造詣 を持つ藤沢市民オペラの芸術監督・園田隆一 郎を迎え、日本を代表する実力派歌手や海外 で活躍する新進気鋭の若手派歌手らを招聘 し、作品の真価を鮮やかに立ち上げる。出演 は、清水徹太郎、水野友貴、山際きみ佳、小 堀勇介、与那城敬、井上大聞。演出は田丸一 宏。
①12月4日(金)  ②12月5日(土)  ③12月12日(土)  ④12月13日(日)	①【座間市】 ハーモニー ホール座間  ②【鎌倉市】 鎌倉芸術館  ③【開成町】 開成町福祉 会館  ④【川崎市】 新百合トゥ エンティワ ンホール	C×JAZZ Vol. 2  壺阪健登×ジョー ジ・ガーシュウイ ン	県民ホール小ホールのシリーズとして、室 内楽やオルガン、バロック音楽を自由な発想 でクロスした展開してきた C×(シー・バ イ)企画。令和7年度からは新ジャンルとし てジャズとの融合を志し「C×JAZZ(シー・バ イ・ジャズ)」を始動している。  令和8年度は Vol. 1に続き、第2弾を開 催。横浜市出身で、いま最も注目を集めるジ ャズピアニストかつ作曲家の壺阪健登を迎 える。オーケストラやフェスティバルでも引 く手あまたの壺阪が、アメリカの作曲家ジョ ージ・ガーシュウインと対峙し、自作の新曲 を含むジャズ作品を披露する唯一無二の企 画。Vol. 1とは異なる編成により県内4か所 で展開し、県域全体に新たな音楽体験を広 げる。
調整中	【横浜市】 ミズキーホ ール	現代音楽コンサート (仮)	團伊玖磨、一柳慧と、二代に渡って世界的 な現代音楽作曲家を芸術総監督に戴いてき た県民ホールの伝統を継承する企画。将来 において世界の音楽的潮流が進むべき方向 性を見定め、実際の作品創作、演奏、シン ポジウム等を通じて、日本のクラシック音 楽界の未来を開拓する事業を展開する。こ れまで、20世紀以降のクラシック音楽を 世界的に革

			新してきた作曲家や作品、また国内外を問わず新進の作曲家による委嘱新作を発表してきた実績を活かし、神奈川から、日本および世界の現代音楽界を触発することを目指す。
調整中	①【横浜市】 神奈川近代文学館  ②【山北町】	神奈川近代文学館連携事業  神奈川ポエトリー・リーディング（仮）	神奈川県有数の文化施設のひとつである神奈川近代文学館と連携し、新たな朗読表現の創造に挑む。近代文学館の企画展開催期間に合わせ、テーマとなる作家作品のうち、朗読により力を発揮する作品と適切なアーティストを文学館と協働して招聘する。朗読や音楽だけでなく、観客に対して視覚的な演出効果も提示する。近代文学館での開催を皮切りに、県域での展開を考慮した規模で行い、文学と舞台芸術双方の魅力を伝えていく。
12月 ～令和9年1月	①【箱根町】 箱根彫刻の森美術館  ②【中井町】 なかい里都まちCAFÉ	「カナガワポトガラヒー 出張浅田撮影局」	令和7年度に引き続き、写真家・浅田政志による創作と展覧会開催の事業を継続する。浅田は、「家族」と「記念写真」をテーマに市井の方々とその生活に向き合い続ける作風を持つ写真家であり、神奈川県内の各市町村を巡り、地域に暮らし、活動する方々と等と協働して作品創作や発表を行う。

### ■ミッション「感動を分かち合う」[5事業]

開催予定日	会場	公演名・企画名	内容
① 8月11日 (火・祝)	①【伊勢原市】 伊勢原市文化会館	神奈川フィルハーモニー管弦楽団と巡る 県内オーケストラコンサート	神奈川フィルハーモニー管弦楽団によるスペシャル・コンサートを開催する。
② 令和9年 2月11日 (木・祝)	②【相模原市】 相模原市文化会館		プログラムは、誰もが親しみやすいクラシックの名曲に加え、ジャンルを超えた音楽を織り交ぜ、多彩な魅力を提示する構成とする。さらに、神奈川にゆかりのあるゲストを迎えることで、新鮮かつ華やかに展開する。子どもから大人まで幅広い世代にとって、オーケストラの生演奏を身近に感じ、音楽の持つ力と響きの豊かさを体験できる貴重な機会とする。加えて、神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席ソロ・コンサートマスターの石田泰尚氏を中心に結成された“サロンオーケストラ”による「石田 Salon」公演も実施する。地域に開かれたコンサートとして、多
③ 2月15日（月）	③【大和市】 大和市文化創造拠点シリウス	③のみ 石田泰尚×神奈川フィル 「石田Salon」	

			様な来場者層の参加を促し、文化芸術への関心を一層高めることを目指す。
①10月9日(金)  ②11月14日(土)	①【横須賀市】 横須賀芸術劇場  ②【小田原市】 小田原三の丸ホール	林英哲 和太鼓スペシャル・コンサート(仮)	“和太鼓の芸術的な可能性を発見した第一人者”として国内外で活躍する太鼓奏者・林英哲(小田原市出身)をメインの出演者とする演奏会。令和8年には演奏活動55周年を迎える林は、圧倒的な演奏表現と独自の奏法によって国内外で高い評価を受け、太鼓芸術の新たな地平を切り開いてきた存在である。今回の公演では、林に加え、その門下生で結成された「風雲の会」も参加する。さらに、和太鼓の壮大な響きに加え、三味線奏者・上妻宏光をゲストに迎えて異なる和楽器の競演による新たな音楽世界を提示する。日本の伝統を基盤にしながらも独創性あふれる舞台を創出し、県内2か所でスペシャル・コンサートとして展開する。観客に圧倒的な迫力とともに、日本文化の奥深さを体感させる機会とする。
調整中	①【二宮町】 ②【葉山町】	オルガンの旅	県民ホールのパイプオルガン事業の後継として、幅広く「オルガン」という楽器の可能性と魅力を探っていくための企画。神奈川県内の施設において、古楽器のひとつであるポジティブ・オルガンなどを用いて、各地を巡回。ホールや開催時期に合わせ、他の楽器や歌手などとの共演を行い、オルガンが持つ多様な可能性を追究する催しを展開する。
①10月18日(日)  ②令和9年2月27日(土)	①【逗子市】 逗子文化プラザホール  ②【綾瀬市】 綾瀬市オーエンス文化会館	音楽絵本シリーズ 「宮沢賢治シリーズ」	国内外にある古今の児童文学や説話、昔話の名作を題材とし、クラシック音楽を基調とした演奏、歌唱、朗読に仕立てたパフォーマンスを行う。さらに、舞台上の視覚的演出を加え、鑑賞体験の広がりを追求する企画。「ことば」が紡ぎ出す世界を、音楽とビジュアルの融合によって立体的に立ち上げ、新たな舞台芸術の形として各地で展開。「マザーグース」を取り上げた令和7年度に続き、令和8年度は、宮沢賢治の名作を取り上げ、講談師の朗読、リユート演奏、映像プロジェクトを組み合わせる。多様な観客層に豊かな音楽鑑賞の場を提供する。

<p>令和9年 2月21日(日) ～3月27日(土)</p>	<p>【鎌倉市】 鎌倉芸術館 ギャラリー</p>	<p>神奈川県美術展2027 Trial to the NEXT (併催展 中高生特別企画展)</p>	<p>神奈川県美術展は、美術の創造を通じて人生を豊かにし、芸術文化の振興を図ることを目的に開催する県内の最大規模の公募展。長年、県民ホールギャラリーの大規模な展示室で開催してきたが、休館したことをふまえ、新施設での開催に移行するまでの期間を、新しい公募展のあり方に挑戦する機会と捉え、様々な方法を模索しながら「神奈川県美術展2027 Trial to the NEXT」と題して開催する。</p> <p>1期展 [中高生特別企画展／受賞作品展] 2期展 [平面立体] 3期展 [工芸・書・写真]</p>
--	----------------------------------	---	---

■ミッション「つねに考える」[3事業]

開催予定日	会場	公演名・企画名	内容
<p>令和9年 3月24日(水)</p>	<p>【藤沢市】 藤沢リラホール</p>	<p>藤沢市民オペラ連携事業 マスタークラス受講生による成果コンサート</p>	<p>藤沢市民オペラとの連携事業として、藤沢市民オペラが実施するマスタークラス受講生による成果発表コンサートを開催する。国内外で活躍する一流歌手から直接レッスンを受けた若手歌手たちが、その成果を披露する舞台を創出する。日本のオペラ界の次代を担う人材育成の一環として位置づけ、若手音楽家にとって実践的な発表の場であると同時に、観客にとっては新しい才能との出会いの機会となる。教育的側面と芸術的成果を兼ね備えた事業として、地域の文化的発展に寄与することを目指す。</p>
<p>①調整中 ②8月19日(水) ～8月21日(金)</p>	<p>①【海老名市】 ②【平塚市】 ひらしん平塚文化芸術ホール 多目的ホール</p>	<p>楽器体験ワークショップ (①クラシック編／ ②ジャズ編)</p>	<p>若年層を主たる参加対象と捉え、舞台芸術への興味関心を喚起するための体験型講座を展開する。初心者から経験者まで、誰もが気軽に楽器に触れ、音を生み出すことのできる機会を創出する。ジャンルに幅を持たせ、令和8年度はクラシックとジャズのワークショップを展開する。自ら音を奏でる体験を通じ、表現する喜びと音楽の本質的魅力を実感させるとともに、作品鑑賞への興味を引き出すことも目標とする。</p>

12月 ～令和9年1月	①【松田町】 ②【大磯町】	「カナガワポトガラヒー出張浅田撮影局」関連企画	企画展「カナガワポトガラヒー出張浅田撮影局」の関連事業として、写真家・浅田政志によるワークショップやトークショーを実施する。写真を身近な文化として捉え直し、日常的に接している写真の中から新たな発見や視点を引き出す機会とする。参加者は第一線で活躍する写真家との交流を通じて、作品制作の背景や表現の奥行きを学び、写真への理解を深めることができ、新たな知識と興味を喚起する場を創出する。
----------------	------------------	-------------------------	--

■ミッション「未来につなぐ」[4事業(再掲除く)]

開催予定日	会場	公演名・企画名	内容
令和9年 2月21日(日) ～3月27日(土)	【鎌倉市】 鎌倉芸術館 ギャラリー	神奈川県美術展2027 Trial to the NEXT (併催展 中高生特別企画展)	県内で芸術活動に取り組む中高生を支援し、発表の場を提供することにより、創作意欲の向上や自己表現の場を広げ、未来にはばたく次世代の芸術家の育成を目指す。また、中高生特別企画展は、神奈川県美術展の併設展として位置づけられており、一般の公募展と並行して開催することで、世代を超えた芸術交流の場を創出する。  [中高生特別企画展]  1期展 [中高生特別企画展/受賞作品展] 2期展 [平面立体] 3期展 [工芸・書・写真]
調整中	①【南足柄市】 南足柄市文化会館 ②【大井町】 ③【愛川町】	ロック企画(仮)	令和7年度より試行している「ロック音楽」をテーマにした企画。20世紀が生んだ巨大な音楽的潮流を芸術文化のひとつとして捉え、代表的なロック・ミュージシャンを特集して、その研究者や関係者、トリビュート・バンドらを招聘。トークと演奏の双方から、体系的に「ロック音楽」の魅力を探り、味わう場とする。
調整中	【湯河原町】	林英哲関連企画和楽器ワークショップ	日常では触れる機会の少ない和楽器をテーマとしたワークショップを実施する。林英哲 和太鼓スペシャル・コンサート(仮)に先駆け、鑑賞体験に加え実際に楽器に触れることで、和楽器への理解や楽しみ方を広げる場を創出する。和楽器の魅力を感じ、地域に根差した広がりを持つ事業として展開する。

調整中	【相模原市】	リニア駅活用事業	橋本駅前に建設中のリニア中央新幹線駅工事現場を文化芸術の場として活用し、建設中のこの時にしか実現できない空間とパフォーマンスの組み合わせの妙を実現。メモリアルかつ賑わいの創出に繋がる事業を実施。
①12月4日（金）	①【座間市】 ハーモニー ホール座間		(再掲)
②12月5日（土）	②【鎌倉市】 鎌倉芸術館	C×JAZZ Vol. 2	
③12月12日（土）	③【開成町】 開成町福祉 会館	壺阪健登×ジョー ジ・ガーシュウイ ン	
④12月13日（日）	④【川崎市】 新百合トゥ エンティワ ンホール		
①8月11日 （火・祝）	①【伊勢原市】 伊勢原市文 化会館	神奈川フィルハーモ ニー管弦楽団と巡る 県内オーケストラコ ンサート	(再掲)
②令和9年 2月11日 （木・祝）	②【相模原市】 相模原市文 化会館		
③2月15日（月）	③【大和市】 大和市文化 創造拠点シ リウス		
①10月18日（日）	①【逗子市】 逗子文化プ ラザホール	音楽絵本シリーズ 「宮沢賢治シリーズ」	(再掲)
②令和9年 2月27日（土）	②【綾瀬市】 綾瀬市オー エンス文化 会館		

## 2. 施設運営・利用者サービスに係る事業

「あらゆる人々にひらかれた場」であるために、「安全安心で快適な利用環境を守る」ことを施設運営においての最重要課題とし、また清潔さ、使いやすさ、親身な対応といった付加価値を意識して、サービスの向上と利用の促進を図り、高いホール利用率を維持・回復させる。

管理運営にあたっては、施設の特性を鑑みながら、県の公立文化施設として相応しい良好な空調管理、保守管理等を実施する。更に社会連携ポータル部門との連携により、バリアフリーの観点をもって、施設運営を行う。

利用者に施設を利用して満足いただくためのサービスや、施設の健全な管理に必要な知識と経験を備えた専門人材を育成し、来館者も利用者も安心して過ごすことのできる施設環境を創出する。

### (1) 芸術劇場

#### ア 芸術文化に関する施設維持管理運営事業 公1

開館から15周年をむかえ、ミュージカルのロングラン公演の会場として、また、多彩な演劇公演が上演される劇場として横浜に定着してきた。認知度の向上とともに比較的長期の利用が継続的に行われるようになってきており、引き続き専門劇場として、運営サービスを安定的に提供していく。

会場案内、舞台技術、警備等の各委託会社と協力し、館全体で、劇場の安全と危機管理体制を整え、快適な劇場空間の維持と利用者サービスの向上に努める。

電子部品等の更新時期を迎えていることから、県と連携をとりながら適切な更新工事等を実施・協力していく。

外国人・障がい者等の来館者対応として、鑑賞サポートの充実、ホームページの改善、職員研修などを順次計画的にハードとソフトの両面から進めていく。

令和8年4月より適用される、改正神奈川県立県民ホール条例に基づいて定められた新利用料金について、利用者への理解を求め周知徹底を図るなど丁寧に対応していく。

ホール特定貸館として、以下の公演を実施する。

開催予定日	会 場	公演名・企画名	内 容
令和8年 4月5日(日) ～8月6日(木)	ホール	劇団四季ミュージカル 「マンマ・ミーア！」 全114回公演予定)	神奈川県に拠点を置く劇団四季は、平成29年「オペラ座の怪人」、平成30年「ノートルダムの鐘」、令和元年「パリのアメリカ人」、令和2年「マンマ・ミーア!」、令和4年「ノートルダムの鐘」、令和5年「クレイジー・フォー・ユー」、令和6年「オペラ座の怪人」とこれまで7演目のロングラン貸館公演を実施し、延べ66万人を動員してきた。令和8年は、ABBAの名曲に彩られた傑作ミュージカル「マンマ・ミーア!」が、再び神奈川芸術劇場に戻ってくる。引き続き県民に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供する。  主催：神奈川県、横浜市、公財) 神奈川芸術文化財団、四季株式会社

## イ 芸術劇場の施設を活用する事業 収2

公益目的の利用（演劇・舞踊公演等）が見込まれない場合は、学術会議あるいは講演会等のための利用に提供し、その収益を公益目的事業の財源に充当する。

## ウ 駐車場の運営 収1

駐車場の運営を的確に実施し、収入確保を目指す。

## (2) 音楽堂

### ア 芸術文化に関する施設維持管理運営事業 公1

開館72年目を迎え、舞台・客席含め施設、設備等の老朽化が著しく、大小様々な不具合が日常的に発生している。職員の運用能力向上を図りつつ、施設の定期点検・保守を継続し、設置者である県とともに長期修繕計画の確認、見直し等、現状を共有していく。特に、老朽化の著しい張り出し舞台の利用法の検討、建物の雨漏りの改善等、積年の課題を引き続き県とともに整理していく。同時に、音楽堂へのオンライン小口寄付を継続し、利用者・来場者の安心安全につながる施設・設備の小破修繕に充当する。

利用対応においては、令和8年度4月より新利用料金となるが、事前の周知徹底によりつつがなく移行中である。利用者への親切丁寧な対応、社会情勢等の変化にも柔軟に対応できる体制を整

え、安心・安全な施設運営に努め、利用者・来館者の満足度向上を図る。

定期的開催し人気を博している建築見学ツアーについては、今後もボランティアグループ bridge と連携し実施する。障がいのある方にもご参加いただける鑑賞サポートも社会連携ポータル部門との共同で継続して行う。

近隣の文化施設（県立図書館、青少年センター、横浜能楽堂、市民ギャラリー）との5館連携事業「まいらん」を実施し、紅葉ヶ丘地区のさらなる活性化に寄与する。

## イ 音楽堂の施設を活用する事業 収2

公益目的の利用（音楽公演等）が見込まれない場合は、講演会や研修会などのための利用に提供し、その収益を公益目的事業の財源に充当する。また近年増加傾向にある雑誌、CM 撮影等についても、空き日を活用した利用料収入の確保と建築空間の魅力を活かした活用方法として今後も積極的に提供していく。

## 3. 社会連携ポータル部門に係る事業 公1

財団のミッション達成のため、専門的な知識、技術の習得を通じて芸術文化領域の将来を担う人材の育成を目指す＜専門人材育成プログラム＞、子どもたちと芸術文化をつなげ豊かな感性を育む＜教育との連携＞、年齢や障がいの有無にかかわらずあらゆる人が芸術文化に親しめる環境や機会を創出する＜インクルーシブアプローチ＞、県内各地で多くの方が芸術文化に親しみ楽しむための＜地域との連携＞の4つの取組をリードする部門として、各館事業と協働して県民に芸術文化に触れる機会を設ける取組を進める。

令和8年度は、財団固有の役割である社会連携ポータル事業と県からの受託事業である共生共創事業に継続して取り組みつつ、これまでの取組で得られた知識、経験を各館や県内各地域の財団、施設と共有するなど、社会と芸術をつなぐ窓口＝ポータルの役割をより実効性のある機能として確立することを目指す。

### （1）社会連携ポータル事業

#### ■ ミッション「感動を分かち合う」

○インクルーシブアプローチ

開催予定日	会場	公演名・企画名	内容
通年	芸術劇場 音楽堂 県内各施設	鑑賞サポート	芸術劇場、音楽堂及び県域展開事業において、障がいや様々な要因により芸術の鑑賞・参加に障壁がある人が舞台芸術や美術を楽しむためのサポートを行う。障がいのある人に向けた情報保障や、外国につながるルーツ

			をもつ人、高齢者などへの鑑賞サポート、児童・生徒の招待などを実施する。字幕や音声ガイドの提供、補聴システムや感覚過敏に対応した用具の貸出など、可能な範囲でより多くの公演で実施し、県民が様々な形で芸術文化に触れる機会を設ける。
通年	音楽堂 県内各施設	アウトリーチ ① 多文化・多国籍の子どもたちのためのアウトリーチ ② 先生のためのアウトリーチ ③ 若手アーティストの育成	① 外国につながるルーツをもつ子どもたちを対象として、「音楽」を通じたノンバーバルコミュニケーションをきっかけに、言葉の壁を越えてさまざまな交流を促す一助となること、また芸術としての「クラシック音楽」に親しむ機会の創出を目指すアウトリーチ事業を新たに展開する。 ② (再掲)《音楽堂P.20》 ③ 上記①②の事業を通して、県内各地域での芸術文化活動を担う若手アーティストを育成する。また、育成したアーティストがさらに次の世代を育成していくサイクルの確立を目指す。
5月30日(土) 7月18日(土) 令和9年 1月30日(土)	音楽堂	小中高生のための公開リハーサル	(再掲)《音楽堂P.19》

○地域との連携

開催予定日	会場	公演名・企画名	内容
通年	県内各施設	県内の文化振興財団や文化施設とのネットワークの構築	芸術劇場、音楽堂、県域展開事業、及び共生共創事業と連動し、社会連携ポータル部門がハブとなって県内の文化振興財団や文化施設とのつながりを強化し、県内の芸術文化領域でのネットワークを構築する。県内各地

			での様々な芸術文化活動の情報収集や蓄積を行い、それを共有することで、より多くの県民に芸術文化に触れる機会を設けることを目指す。
--	--	--	---

## ■ミッション「未来につなぐ」

### ○専門人材育成プログラム

開催予定日	会 場	公演名・企画名	内 容
調整中	芸術劇場 県内各施設	人材育成講座	文化施設の運営にあたって必要な知識を、グループワークなどを交えて実践的に学ぶ人材育成プログラム等を実施。
年2回程度	芸術劇場	舞台技術講座	(再掲)《芸術劇場P.14》
①年2回程度 ②8～9月	①芸術劇場 ②音楽堂	インターンシップ ①芸術劇場 ②音楽堂	①(再掲)《芸術劇場P.13》 ②(再掲)《音楽堂P.19》 〔社会連携ポータル部門の切り口〕 文化振興財団や公立文化施設の役割などを学ぶ共通プログラムと、芸術劇場・音楽堂のそれぞれの特性を生かした個別プログラムにより、舞台芸術の世界での就業を志す人に体験を通じた学びの場を提供し、将来を担う人材を育成することを目指す。
通年	芸術劇場	大学連携	(再掲)《芸術劇場P.14》
年2回程度	芸術劇場	グリーンシアター・ワークショップ	(再掲)《芸術劇場P.14》 〔社会連携ポータル部門の切り口〕 芸術文化の視点から、環境との関わりや持続可能性を考える場として、ワークショップを実施。

○教育との連携

開催予定日	会 場	公演名・企画名	内 容
通年	芸術劇場	大学連携	(再掲)
調整中	芸術劇場	教育機関連携事業	(再掲)《芸術劇場P.14》
通年	県内各施設	アウトリーチ	(再掲)
通年	音楽堂 県内各施設	先生のためのアウトリーチ研修会	(再掲)
5月30日(土) 7月18日(土) 令和9年 1月30日(土)	音楽堂	小中高生のための公開リハーサル	(再掲)

■ミッション「つねに考える」

開催予定日	会場名	公演名・企画名	内 容
通年	芸術劇場 音楽堂 県内各施設	鑑賞サポート	(再掲)
調整中	芸術劇場 県内各施設	人材育成講座	(再掲)
①年2回程度 ②8～9月	①芸術劇場 ②音楽堂	インターンシップ ①芸術劇場 ②音楽堂	①(再掲) ②(再掲)

年2回程度	芸術劇場	グリーンシアター・ワークショップ	(再掲)
通年	音楽堂 県内各施設	先生のためのアウトリーチ研修会	(再掲)

## (2) 共生共創事業 (県からの受託事業)

(県の事業者募集に応募しており、獲得を目指す。今後調整を進めていく。)

事業名	内容
共生共創事業	<p>県の重点施策である「共生社会の実現」「未病」などの取組とマグネット・カルチャー (マグカル) をクロスさせた舞台芸術関連の事業。</p> <p>県域の文化振興に関するネットワークの形成についても、本事業に関連して進めていく。(9年目。平成30年度から開始の事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シニア劇団3箇所 通年実施 (横須賀、綾瀬、小田原)</li> <li>・シニアダンスワークショップ1件 通年実施 (横浜を主体に県内各地)</li> <li>・インクルーシブ事業</li> <li>・その他広報業務等</li> </ul> <p>※神奈川県による事業説明文</p> <p>事業理念</p> <p>神奈川県では、「ともに生きる社会かながわ」の実現に寄与するため、文化芸術の分野においても、「ともに生きる ともに創る」を目標に、年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まですべての人が、舞台芸術に参加し楽しめる「共生共創事業」を実施しています。</p>

## 4. その他本部事業

### (1) 芸術文化に関する情報の収集提供 公1

情報誌「神奈川芸術プレス」を年2回発行する。当財団の主催事業のみならず、広く県内外で実施された芸術文化や文化施設の取組等を紹介することで、県民に芸術文化への理解をより深め、親しみを感じてもらえる内容とする。

公演・催物だけでなく、芸術文化と社会の架け橋になるような特集テーマを設定し、人材育成、社会連携の取組なども含めた幅広い観点で、紙の冊子ならではの読み応えのある記事を制作していく。また過去号の読者アンケートを通して県民のニーズを盛り込めるように取り組む。冊子と同内容のウェブ版も引き続き展開し、幅広い読者層にアプローチできるよう認知度向上に努める。

### (2) かながわメンバーズの運営 公1

インターネット会員制度「かながわメンバーズ（愛称 KAme：カメ）」（会費無料）を運営し、メールマガジンによる公演案内やチケット販売情報を定期的（月2回程度）に配信する。併せてチケット購買データを集積し、会員ニーズに合わせた戦略的な広報とチケット販売促進のための情報を収集活用する。

また、会員情報を適切に管理し、情報の安全性を確保し、効率的な運営を行う。

### (3) チケットかながわの運営及び団体販売等の促進 公1

主催事業の票券管理補助およびチケット販売、共催・提携・貸館公演のチケット販売受託を行うため、チケットセンター「チケットかながわ」を運営する。芸術劇場と音楽堂2館のチケット販売窓口と県域への事業展開に向けて、より効率的な運営に努めるとともに、インターネットによるチケット販売においても、電話・窓口での販売においても、利用者それぞれに寄り添ったサービスを提供し、利用者満足度、顧客としてのエンゲージメントを向上させる。

チケットの団体販売については、各種団体等への斡旋販売、福利厚生会員組織向けのインターネットを活用した販売を継続する。

また、指定管理者申請要項によって求められている効率化等に向けた検討を行う。

### (4) 資金調達活動 公1

#### ア 文化庁等からの補助金・助成金の確保

文化事業、広報活動及び人材育成等の充実を図るため、文化庁「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」等の補助金、一般財団法人地域創造をはじめとした民間の助成財団等からの助成金の

確保に積極的に努める。また、独立行政法人日本芸術文化振興会の調査・意見交換等を通して、文化事業の水準向上に繋げるとともに、同様に助成を受けている他劇場や関係機関等との連携を強化し、制度に関する情報収集を行っていく。

#### イ 賛助会員制度の運営及び各種寄付金の獲得

現賛助会員から継続的な支援をいただけるよう、支援者向け限定イベントの実施等、財団と支援者の関係を深める取組等を引き続き実施する。また、新規会員獲得のため、ホームページやSNS、主催公演時等での賛助会員制度・寄付制度の紹介に積極的に取り組む。

さらに、1,000円の小口からクレジットカード決済が利用可能なオンライン寄付を促進する。館ごと（芸術劇場・音楽堂）に募集窓口を設定することで寄付金の用途を明確にし、寄付金を充当した事業の報告を写真とともにホームページに掲載するなど丁寧な情報発信を行うことで、支援者の拡大を目指す。

他にも、特定の公演や事業に対してご支援いただく個別協賛の働きかけ、遺贈寄付の広報に努めるなど、財団の活動をアピールしながら幅広い層からの支援獲得を目指していく。

### (5) 県内の芸術文化財団への業務協力 公1

県内の芸術文化の一助となることから、公益財団法人鎌倉芸術文化振興財団が、鎌倉美術館の指定管理者の指定を受けるにあたり、令和4年4月から、鎌倉美術館に対する管理運営協力を行うこととし、①管理運営における人員出向等の協力、②主催事業における企画制作作品の提供等を行ってきた。

5年目にあたる令和8年度は、協定にある「主催事業における企画制作作品の提供等」を行うこととする。

なお、業務協力の期間は、令和4年度から5年間を1期として、最大2期までを予定している。

### (6) 寄付講座の実施 公1

本部事業として、昭和音楽大学・大学院等の授業「音楽芸術マネジメント特講VI」に出講し、当財団職員が劇場運営や事業等について分担して講義を行い、地域の教育機関との連携を深め、芸術文化の人材育成に寄与する。（計100分×14コマ予定）

## (7) 管理組合の運營業務受託 収2

芸術劇場及び日本放送協会横浜放送会館合同施設全体の防災管理業務並びに共用部の敷地・建物の清掃、保全、保守、修繕、植栽、じん芥処理及び消毒業務等の施設維持管理業務を受託する。合同施設アトリウム・レストラン・カフェの利用調整業務を行う。

## (8) 法人本部の運営 法人

理事会・評議員会等の運営、職員の資質向上のための研修の実施、事業評価の実施、その他公益法人の運営に関すること（総務、人事、会計、県との調整等）を行う。また、情報システムの適切な管理体制の構築に取り組むとともに、情報セキュリティを強化する。また個人情報保護、コンプライアンスに係る研修等を積極的に行い、第5期指定管理業務（3年）も引き続き、着実に遂行していく。